

男性教職員の育児休業取得体験談

～男女ともに育児休業等を取得することが当たり前の社会を目指して～

令和6年12月

学校の支援と工夫について

（育児休業を取得された男性教職員が在籍する学校の取組）

育児休業の取得を迷っている方の背中を押し、サポートできるように、令和3年度から育児休業を取得された男性教職員の体験談を紹介しています。ご提供いただいた育児休業体験談の中には、**学校や管理職の支援体制への感謝の言葉**が多く寄せられていました。そこで、育児休業を取得した男性教職員が在籍する学校に、どのような支援や工夫を行ったかを伺いました。

育児休業を取得しやすい体制作りのために、普段から行っていることは何ですか？

- ・日頃から、お互いの業務を理解し、協力する体制を整えることに努めている。
- ・年度当初に、育児や介護に関する休暇・休業等の活用について、全教職員に説明している。
- ・目標設定シートの当初面談時に、子育てや介護等の状況を確認し、活用できる制度について伝えている。
- ・日頃から、子どもの行事、子や親の看護等で休暇を取得しやすい環境づくりに努めている。
- ・事務職員からも制度について、説明する機会を設定している。
- ・日常会話の中で家庭状況等を聞いたり、育休に関してどのような制度があるのかを伝えている。
- ・複数担任制（学年部の全教員がチームで担任業務を行う）を取り入れている。
- ・「対象者がいる」「育児休業を取得する」という時だけでなく、日々何気ない会話の中で育児の大変さやパートナーの協力についての経験談等について話題にし、取得したい先生のハードルを下げるように心がけている。

教職員が育児休業を取得する際、学校としてどのような支援や工夫を行いましたか？

- ・地域の退職教員に来ていただき、業務支援をしてもらった。
- ・特定の教職員に負担がかからないよう、管理職が中心となって業務の分担を行った。
- ・管理職主導で校務分掌の見直しを行い、置かれた状況下で、学校組織としての全体最適を図っている。業務の平準化は理想ではあるが、現状は厳しいことから、負担がかかる教職員には、対話を増やし、労いの言葉をかけることで乗り切っているのが現状である。
- ・共同学校事務室から職員を派遣（週1日）してもらい、事務処理の支援をもらった。
- ・校務分掌の後任者を決定し、事前の引き継ぎを行えるようにした。
- ・育児休業取得者に授業計画の作成・学習プリント等の準備を依頼し、代替教員未配置期間の授業のやりくりをした。
- ・校務分掌においては、全教職員でカバーし合うことができる体制づくりを行った。

育児休業取得者がスムーズに復職できるように、どのような支援や準備を行いましたか？

- ・朝夕の子どもの送迎などの対応が柔軟に行える体制づくりを行っている。
- ・復職前の面談で、母子を中心とした健康状況や家庭の状況等を把握したうえで、校内人事の際に可能な限り配慮している。
- ・休暇制度の説明を行い、復帰後も取得できる休暇等について説明し、取得を促した。
- ・復職前に育児の状況を聞き取り、不安なことはないか確認した。
- ・休暇制度の説明を行い、育児状況を念頭に具体的な取得に向けて管理職と一緒に検討した。

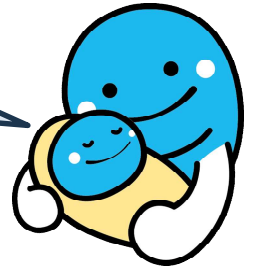
育児休業を取得する教職員以外の教職員に対して、学校や管理職からどのようなメッセージやサポートを行いましたか？

- ・管理職を中心に、学校全体で支え合っていけるような支援を呼びかけた。
- ・校務分掌等、管理職中心にサポートすることを伝えた。
- ・育児休業以外でも、日常的に、家庭や自分の心身の健康を第一に考えるよう伝え、休暇が取りやすい雰囲気づくりに努めている。



実際に育児休業を取得してどうだった？

令和5年度に育児休業を取得した男性教職員に原稿を依頼したところ、27名の方から、提供がありました。
今回は、そのうちの9名の方の体験談をご紹介します。
(9月号にも9名の方の体験談を載せています)



小学校A教諭【生後1ヶ月頃から約3日間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

以前までは、育児休業は原則2回までとなっていたが、育児休業とは別に、産後パパ育休制度(産後8週間以内に4週間を限度として2回に分けて取得できる休業)があると知り取得しようと考えた。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？
周囲の反応や周囲に感謝したことは？

休むことで給与面がどのようになるのか心配だったので、休むことでどのようになるのか検討した。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

短期間の育休だったのですが、取得することで子供と関わる事ができてよかったと思う。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

もっと取ってほしいと言われたが、給与面のことや仕事のこともあり、今回は短期間の取得にした。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

育児を女性だけに任せるのではなく、男性も参加できるように、育児休業はもっと積極的にとるべきだと考えます。教員不足で、交代する方がいない等不安もありますが、プライベートも大事にしたいものです。しかし休むとなると給与面が下がってきますので、そこは検討する必要があるかとも思っています。今回は立場上、3日程しか休みをとっていませんが、個人的にはもっと取りたかったと思っています。

小学校B教諭【生後0ヶ月頃から約2ヶ月間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

二人の子供がおり、それに加え、第3子が産まれると、自分が育児休業を取得しなければ家庭が回らなくなると感じたため。
(双方の両親も働いており、実家の援助も厳しい)



育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

育休を取得するにあたり、代替の講師が見つからないので、業務内容の引継ぎに苦労した。本校は完全複式校であるので、各先生の負担増に対して、心苦しい思いはあったが、どの先生方も「今しか経験できないことだから、家のことに専念したらいい」と言ってくださったことはとてもありがたかった。

出産予定日より2週間早く生まれたため、その間の事務手続きのために何度か学校とのやり取りがあり、大変な部分もあった。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

過ごし方は、朝起きて朝食の用意や洗濯物、子どもを起こして朝食→着替え→保育園。日中は家のことをしたり、妻や子どもと過ごした。午後4時前に子どもを保育園に迎えに行き、公園や図書館などに行き、その後に家で夕食を食べるなどゆったりと過ごすことができた。

気付いたのは、子どもがいない間にやらなければいけない雑務が多いことと、日用品の減るスピードが思っていたよりも早かったこと。子どもがいる間に家事をするのはとても難しいこと。YouTubeやスマホに頼る親の気持ちが変わったこと。

良かったことは、普段は朝晩の限られた時間や週末しか子どもと過ごすことができないが、一緒に朝夕のご飯を食べたり、保育園帰りに公園に行って遊んだりしたことで、様々な成長により気がつくことができた。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

上の子供がおり、保育園の送り迎えやお世話、また家事をしてくれたので赤ちゃんのお世話以外は休むことができてよかった。また、寝不足を感じたときは赤ちゃんを夫に預けて休むことができ、体調の戻りもよく感じた。夫と赤ちゃんの成長や様子を一緒に共有することができてよかった。もし、学校に育休をとっても問題ない体制や代替の教員が来ることがわかっていれば、年度末まで育休を取得して欲しかった。



これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

私は第3子のみ育児休業を取得しましたが、前の子どもの時にも取ればよかったと思うほど貴重な時間を過ごすことができました。仕事をしていたら気付けない様々なことや、我が子と過ごすゆったりとした時間。どれも今しかできません。素晴らしい制度なのでぜひ活用してほしいと思います。

小学校C教諭 【生後1ヶ月頃から約9ヶ月間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

1人目の時には育児休業を取得しておらず、2人目は男性も育児休業が取得しやすい制度に変わったことや、子供と過ごす時間を増やしたいこと、妻の育児の負担を減らし、夫婦で協力し合って育児をしたいと思ったので、この機会に育児休業を取得しました。



育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

4月から育児休業を取得する予定だったので、学級事務や校務分掌の引継ぎ等をしっかり行い、育児休業に入れるようにしました。校長先生をはじめとする管理職や先生方が快く送り出してくださったので、育児に専念することができました。本当に感謝しています。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

妻と育児休業の時期を重ねて取ったので、気持ちにゆとりを持って子供と向き合うことができました。日頃忙しくてあまり接することができていなかった3歳の娘と0歳の息子とともに毎日散歩をしたり、公園に遊びに行ったりすることなど充実した時間を過ごすことができました。子供の成長を間近でゆっくりと見られたのは、一生の宝物となりました。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

気持ちに余裕をもって子供の成長をゆっくりみることができた。1人目の時よりも安心して家事育児に取り組むことができたので、1人目出産後から育児休業を取得してもらいたかった。家事育児を共にする意識が高まり、夫婦で話す時間も増えたのでメリットを多く感じた。男性の育児休業を積極的に取得してもらいたいと思う。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

9か月間の育児休業でしたが、本当にあっという間でした。
「今しかできない大切な経験」なので、ぜひ積極的に育児休業を取得される方が増えることを願っています。

中学校D教諭【生後0ヶ月頃から約6ヶ月間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

育児休業を取得している元同僚が、「妻のサポートをしたいという気持ちで取得を決めたが、育児休業を取得して最もよかったと思ったことは、子どもの成長を24時間感じられることだ」と言っていました。また、奥さんから、「夫のサポートを感じ、とても安心して育児ができています。世の中の旦那さんにも育児休業を取得してほしい」という意見を聞いたので取得しました。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

出産予定日が分かってすぐ、おおよその育児休業取得開始予定日を決めましたが、実際の出産が予定日通りであるとは限りません。また、妊娠中の妻が一番大変なことは間違いありませんが、常に体調が良いわけでもない妻のことが、仕事をしていても、常に心配でした。ですが、学校の体制として、担任や校務分掌等で複数配置をしてくださったり、年度途中からの育児休業取得に備えた人員配置をしたりしてくださっていたので、育児休業を安心して取得できました。また、教職員はもちろん、保護者や生徒も家庭の事情を理解し、サポートしてくれたので、「一つの小さな命がこんなにたくさんの人たちに支えられている」と嬉しい気持ちになりました。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

取得してよかったと感じたことを2つご紹介します。

1つ目は、育児の大変さを感じることができたことです。仕事をしながらでも育児には参加することができますが、一番大変な時間帯は、やはり日中だと感じました。生まれたばかりの子どもなので仕方ありませんが、活動が制限されるため、思うようにやりたいことややるべきことが進まない状況に、ストレスが溜まりました。もし私が一人で育児をすることになっていると耐えられなかったと思います。その大変さを、実際仕事をしている時間帯に見て、感じる事ができたことで、私が仕事復帰した後も、育児をしてくれている妻への尊敬と感謝の気持ちがさらに大きくなりました。

2つ目は、毎日急速に成長をし続ける子どもの姿を間近に見られたことです。仕事をしていると、朝出かけるときも、夜帰ってきたときも寝ていることが多く、「今日〇〇ができるようになってね、…」と、様子を伝え聞くだけになることが多くなると思います。ですが、育児休業を取得すると、24時間成長を見守ることができるため、「どうしてできるようになったのか」や「きっかけは何だったのか」などを直接知ることができます。実際夫婦2人いても育児は大変だと感じますが、成長を間近で見守ることができると、それ以上に我が子がさらにかわいいという気持ちが強くなること間違いなしです。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

分担して育児と家事ができるので、負担が大きくなり、体を休める時間が取りやすかったです。特に、産後すぐは育児と自分の体の回復に専念することができて助かりました。初めてのことはばかりで不安が色々出てくる中、すぐに相談できたり、何気ないことでも話せる相手がいることで、ストレスが軽減されたりしたと思います。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

子どもを初めて持つ夫婦は、わからないことばかりで、何が正解か悩む毎日を送ることになると思います。そんな時、夫婦で力を合わせれば、お互い心強さを感じ、失敗も怖くなります。そして何より、生まれてきた小さな命にとって、両親が毎日そばにいてくれることほどの幸せはないでしょう。現代社会において、愛情不足と感じる子どもが多いという話を聞きます。私たち、学校の教職員は、子どもに一番関わる仕事をしています。だからこそ、男性も育児休業を積極的に取得し、夫婦で我が子にたっぷりの愛情を注いであげてほしいと思います。

中学校E教諭【2歳児＋生後0ヶ月 合計約4ヶ月間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

第1子が2歳児であり、第2子が生まれる予定であった出産直前及び出産後の妻は、とても大変であると思いました。家庭をしっかりと守らないといけないと感じたので、育児休業を取得しました。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

私の育休中、理科の臨時教員が3週間ほど配置がなかったため、各学年の理科の自習課題を用意しました。校務分掌や部活動（育休中の練習日程について）の引継ぎが上手くできず、同僚に迷惑をかけたのではないかと思います。協力してくださったみなさんに感謝します。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

何よりも、妻、第1子、第2子と関わる時間が確保できたこと。そのことに尽きます。また、妻の子供に対する負担も少しではありますが軽減できたのではないかと思います。家族を大切にするという気持ちがより一層強くなったような感じがします。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

第1子、第2子と関わることで出産後の妻の負担が減って良かったと妻側の両親も言うておりました。また、妻の陣痛が来た時も（真夜中であったが）すぐに対応し、病院へと移動することができました。出産後の様々な書類の提出についても、育児休業を取得していたので、ゆとりをもって書類の確認や提出を行うことができました。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

育児は家族で行うことがとても重要だと思います。子供にも非常に重要な時期であると思います。その時期に家族としての絆をより深めていくことが、今後の人生を送る上で有意義なものになると確信しています。ぜひ、皆さんも育児休業をとっていきましょう。

中学校F教諭【生後2ヶ月頃から約5ヶ月間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

長男の出産や育児等に深く関われなかった後悔が一番の理由です。子どもが寝ているときに家を出発し、寝ているときに帰宅するという生活が長く続き、次男だけでなく、妻や長男への思いも込めて取得させていただきました。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

育休取得を打ち明けた際に、管理職や同僚の先生方が快く受け入れてくれたことが、本当に嬉しかったです。その分、復帰してから頑張ろう！というモチベーションにもつながりました。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

取得して良かったと思っていることは家族と過ごす時間がしっかりと確保できたことです。家族の成長や思いなどをそばで見ることができて嬉しかったです。同時に長男の際にこの経験ができなかったこと、妻や長男への申し訳なさも出てきました。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

長男の際は育休をとってもらえず、私だけが育児をしていました。仕事をしている夫に育児のことを頼むのは申し訳ないと思い、一人で抱え込んでしまい、とても辛かったです。次男の際に育休をとってもらったことで育児のことを共有でき、精神的、体力的にもだいぶ楽でした。何より親に余裕があることで、子どもたちに余裕をもって接することができ、子どもたちにとってもよかったと思っています。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

現在、二人の息子が保育園に通うようになり、子どもたちの口から友達の名前や先生方の名前がたくさん出てくるようになりました。だんだんと子どもたちとの距離を感じています。パパやママなどとながりが最も多く、親としても不安が大きい期間にぜひ取得して、自分のような後悔をしない選択をしてほしいと思います。

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

第1子ということもあり、妻と2人で育児をしていきたい、子どもの成長を一番近くで見たいという気持ちがとても強く、育児休業取得に踏み切りました。事前に調べて産後の妻の身体へのダメージがとても大きいことを知ったので、できる限り負担を減らしたいと考えたからです。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

担任である自分が抜けることで少なからず周りの先生方に負担が増え、申し訳ない気持ちもありましたが、管理職や周りの教員に相談した際に、お祝いの言葉や応援する言葉をいただけて本当に嬉しかったです。

個別の支援計画や指導要録、校務分掌など、自分のできる範囲のことに事前に取り組み、引き継ぐように意識しました。県外での出産だったので、産まれるタイミングが分からず、仕事を引き継ぐタイミングが難しく、苦労しました。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

新生児の頃は、2～3時間おきにミルクをあげたり紙パンツを替えたりしなければならず、夫婦共に寝不足でした。2人で交替しながらできたことで、お互いに思いやりを持ちながら乗り越えることができたと思います。始めて笑った時や首が据わった時を一緒に過ごせたことや我が子の何気ないことを夫婦で共有する時間に幸せを感じました。子どものために一日の時間を使うことができて良かったです。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

産後、慣れない育児で精神的にも大変な中、夫に育児休業を取得してもらい、本当に助かりました。毎日急成長していく我が子の様子を一緒に喜び分かち合うことができ、一緒に育児ができてよかったなと思います。夫が仕事復帰してからも、家事や育児にとっても積極的に取り組んでくれています。

日々忙しい学校現場の中、育児休業を取得するに当たって、校長先生を始め多くの先生方には大変なご協力をいただき感謝でいっぱいです。この3ヶ月は、親子3人で過ごすかけがえのない毎日でした。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

自分だけでなく配偶者の考えを含めて育児休業を取得するかどうかを決めていくことが必要だと思います。出産は女性にとってすごく身体へのダメージが大きいです。その後の育児となると、想像を遙かに超えるほど大変です。配偶者への心身のサポートや子どもの成長を傍で見守るためにも育児休業を取得すべきだと思います。育児は分からないことが多く、心配にも不安にもなります。そんな時に、信頼できるパートナーがいてくれるだけですごく心強いです。



特別支援学校H教諭【生後1ヶ月頃から約2週間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

2人目が産まれて初めて育児休業を取得しました。1人目の時はそもそも取得するという考えがなかったです。周りの男性教員で取得している人もおらず、取り方がわからなかった、管理職からも勧められなかった、校務が忙しかったこともあり、取得しませんでした。そのため、十分に育児に参加できなかったことが心残りでした。2人目の時には制度が浸透してきて、職場や周りの友人にも取得する人が増え、家族とも十分に話し合い、短期間ですが自分も取得してみようと思いました。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

2月に出産予定でしたが、卒業学年の担任を受け持っていたこともあり、取得にあたってはかなり悩みました。そんな中で、管理職や同僚の先生方に背中を押していただいたことで取得を決意することができました。卒業生を送り出してからという自分の希望を家族にも受け入れてもらえて、出産から1ヶ月経って取得しました。取得するまでには、管理職と複数回の面談を行い、クラスや分掌にも早めに報告をすることで準備や引継ぎがスムーズにできたと思います。手続きに必要な書類が多くて、少し面倒だなとは思いました。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

2週間という短い期間でしたので、役に立ったという実感はあまりないです。1人目の時はほとんど育児に参加できていなかったのので、長い時間子どもと触れ合えたことは自分にとってとても必要で大切な時間だったと思います。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

出産後は思うように体が動かなかったり、睡眠不足が続いたりしましたが、家事全般や上の子との関わりなど、私が育児に集中できるためのフォローを積極的にしてくれました。そのおかげで、上の子は赤ちゃん返りもほとんどなく、週末は私と息子が睡眠を取れるように公園などへ遊びに連れて行ってくれてとても助かりました。育休取得後も、自分が外出したい時には2人を見てくれたり、早く帰宅した日はお風呂に入れてくれたりしています。

男性の育休は、育児の大変さを分かってもらうためではなく、家族みんなが安心して楽しく過ごせるためのものだと思います。そのために必要な期間や、協力してもらいたいところを事前に話し合っておくというのではないかと思います。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

以前にオンラインで受けた育休に関する研修で、短期間でも育休を取得した男性の3年後の子育て時間と家事の時間が増えたというデータを見ました。幸福感・信頼感を生み出すオキシトシン（愛情ホルモン）が男性でも子どもとのスキンシップで分泌されるからだそうです。子育ては、すればするほど子どもがかわいくなるというのは、本当だなと思います。周りのことや仕事、お金のことも気になるとは思いますが、サポートはみんながしてくれるので、取得を考えてみてください。期間中やその後の自分の時間も取れるように、家族と話し合うことも大切です。



育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

- ・育児をしたいと思ったため
- ・妻の負担を減らしたいと思ったため
- ・管理職から育休のことを教えていただいたため

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

- ・育児休業、育児休業給付金についてネット等で勉強した
- ・乳幼児に関することの勉強をした
- ・義実家へ帰省したため、義父母の優しさに助けられた
- ・両親からは積極的に取得することを勧められた



育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

- ・子どもの生活サイクルに合わせて1日を過ごしていた。私自身は体力、気持ち等のしんどさはなかったが、妻は少し鬱傾向にあった。
- ・子育ての大変さを知り、妻の苦労を知ることができてよかった。
- ・子どもの成長を実感することができてよかった。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

- ・一緒に育児をしてもらって助かった。
- ・できればもっと休んでもらいたかった。(夫の職場復帰後に感じた)

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

子どもとたくさんの時間を一緒に過ごすことで、子どもを育てることの大変さ等、育児に対する考え方が大きく変わりました。育児を通して学ぶこともたくさんあると思いますので、育児休業について相談された場合には、自信を持ってアドバイスをしたいと思います。



これまでの「男性教職員の育児休業体験談」を教職員・福利課のHPに載せています。ぜひ、ご覧ください。

【これまでの男性教職員の育児休業体験談はこちら→】

